



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【男子 100m】

高瀬 慧 (富士通・千葉)

優勝 10秒28 (-0.9)

「100mでの優勝は初めてだが、やはり 200mで取りたかったという気持ちのほ
うが大きいので、100mに関しては勝ててホッとしているのが正直な気持ち。タ
イムに関しては悪い。この状況で10秒1台を出すのが普通だと思っているので。

ただ、今回に関しては、しっかりと気持ちを切り替え、立て直すことができ
た。それは、自分の成長の証なのかなと思う。

(200m2位という結果で迎えた100mに対して)もう開き直るしかないと思っ
たので、今日は100mの準決の時点で、まず思いきりがむしゃらに走ることと、
脚のケガの不安があったので、それを吹っ切ることを意識していた。

世界選手権に向けては、100m・200mでしっかり戦えるようこれから準備し
ていきたいと思うし、代表としての自覚をしっかり持ちたいと思う」

2015/06/26 19:37 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【男子 200m】

藤光 謙司 (ゼンリン・神奈川)

優勝 20 秒 32 (+0.8)

「ここ何年か勝ちたくてもなかなか勝てなかったので、素直に嬉しい気持ちと、“やっとか”という複雑な気持ちがある。すっきり勝って、決められたので、ホッとしている。

記録も狙ってはいたが、決勝は勝負に徹したかなというレースだった。そのため、記録にあまり納得していない気持ちはあるが、こうやってしっかり勝負をしにいった勝てたことは、今後につながってくると思うので、その点に関してはよかったと思う。

スタート前は、“自分の走りを”ということだけを思っていて、それができれば結果もついてくると思っていた。相手のことは考えず、自分との勝負だなと思っていたので、それが実行できたことはよかったと思う。

これで世界選手権の代表に内定した。ここ最近はリレーでの選出ばかりで、なかなか個人種目を走る機会がなかった。ようやく個人で勝負できる機会を与えてもらったので、北京でファイナルに残れるレースができるよう、最善の準備をしたい」

2015/06/27 20:37 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【男子 400m】

金丸 祐三（大塚製薬・徳島）

優勝 46秒10

「優勝できて嬉しい。今年は（勝つのは）ちょっと危ないかなと思っていたし、不吉なことに、直前の400mHで後輩の岸本（鷹幸）が負けていたので、“あれ、これ負ける流れかな”という不安な気持ちがあった。

（佐藤拳太郎とのデッドヒートとなったが）レース後、テレビカメラがサトケン（佐藤）のほうに行っていたので、負けたかなと思っていたが、リプレイを見て“ぎりぎり差しているかな”と思った。逆転できてよかった。

若手も育ってきて、脅威になってきている。まだまだトップは譲らないという気持ちでやっていくことと、自分がやってきたことを下の世代に伝えていくことが、これからの僕の責務。しっかりこなしていきたい。

これで世界選手権の代表にも内定。今年はダメかなという実感もあったので本当に嬉しい。そのなかでお世話になった方たちには感謝しきれないし、まだまだ僕に期待をかけてくれる方も多いと思うので、それに応えられるようにしたい」

2015/06/28 16:59 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【男子 800m】

川元 奨 (スズキ浜松 AC・静岡)

優勝 1分49秒02

「(横田真人と競り合いとなり)ヒヤッとしたが、しっかり勝てたのでよかった。(3連覇に対しては)特に意識はしていなかった。日本記録を持っている以上、は負けられないという思いをずっと持っているので、勝って当然だと思っている。(横田との競り合いは、5月30日に両者が1分46秒台をマークした)日体大記録会でも同じような展開だった。今回も負けるつもりはなかった。

(世界選手権の標準記録は突破できていないが)とりあえず優勝しているので、7月に予定しているヨーロッパ遠征で、できれば1分46秒を切って、代表入りを目指したい。もし、世界選手権に出場できたら、準決勝を目標に、あわよくば決勝進出を目指したい」

2015/06/28 17:25 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【男子 1500m】

荒井 七海（東海大・千葉）

優勝 3分43秒47

「この大会に向けては、順調に練習ができて、万全の状態でも臨めていたが、初めての出場だったので、こんなに調子が良くてもいいのかなとも思っていた。こういう状態で臨めたのは自分の力だけでなく、支えてくれた周りの人たちのおかげ。感謝したい。

レースは自己ベストを狙うというよりは、周りはみんな強い人ばかりなので、しっかりついていけば、記録はついてくると思って臨んでいた。（フィニッシュ直前まで競り合いとなったが）、最後までどうなるかわからないと思って、持てる力を振り絞って走った」

2015/06/27 16:08 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【男子 5000m】

村山 紘太（旭化成・宮崎）

優勝 13分37秒22

「初優勝ということですごく嬉しい。この大会に向けては、誰もが文句言わないような成績で、堂々と世界で戦えるような結果を出したいと思っていた。その願いがかなって本当に良かった。

嬉しさが派手に出てしまって、フィニッシュでは思いきりガッツポーズをしてみました。どう思われるか分からないけれど、僕の中では優勝できたことが本当に嬉しくて、それが感情に現れてしまった。

（レースは大迫傑とのラスト勝負となったが）僕のなかでは、爆発力のある上野裕一郎さんが脅威だと思っていた。大迫さんであれば、ラスト勝負になったら勝てると思っていた」

2015/06/28 18:41 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【男子 10000m】

鎧坂 哲哉（旭化成・宮崎）

優勝 28分18秒53

「ずっと優勝したいと思ってやってきて、念願がかなった。これで世界選手権代表も内定。何年も前から世界で勝負したいと考えていたものの、なかなかその機会をつかむことができずにいたのだが、今回こういう結果が出せて、一歩近づけたように思うので、これからは世界でしっかり勝負していくことを目標に、先を見据えていきたい。

レースは、ハイペースになるだろうと考えていたが、後半でどうなるかわからないと思っていたので、前半はできるだけ力をためて後半で勝負ができたなら…と思っていた。その後半で、誰もいないなか、一人でそこそこのペースで行けたので、そこは良かったと思うが、その半面で、もうちょっと速くしたかったという気持ちはある。

まだ練習も、目指しているところの途中の段階。世界選手権でピークを迎えられるように、これからしっかりと状態を上げていきたい」

2015/06/27 18:48 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【男子 110mH】

高山 峻野（明治大・広島）

優勝 13秒81（-1.4）

「走った感じがダメだったので、優勝はないだろうなと思っていたのだが、思ったより身体が動いてくれてよかった。まだすごく緊張していて、優勝の実感が全くないというのが正直な感想だ。

関東インカレ以降、金子公宏先生の指導で、しっかり走れるように、ずっと走る練習とインターバル走の練習をしてきた。日本選手権に合わせるようにやってきたことがよかったのだと思う。

スタートでしっかり出ることができて、中盤の加速が良かった。終盤にかけて周りをちらっと見たら誰もいなかったのので、“あ、行ける”と思った瞬間に身体がすんと抜けてしまった。ラストは胸の差で前に出られた感じがしたので、フィニッシュして記録が出るまでは負けたと思っていた」

2015/06/28 16:04 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【男子 400mH】

松下 祐樹 (チームミズノ・神奈川)

優勝 49秒76

「前半すごく風が強くて、思っていたようにスピードに乗ることができず、嫌な感じで入ってしまったのだが、自分の持ち味は後半の伸び。うまく後半につなげることができたと思う。

勝てるとは全く思っていなかった。最終ハードルを越えて、“ああ、もしかしたら…”と思ったが、岸本(鷹幸)さんもラストが強いので、“(岸本に)届けばいいな”と思っていた。勝てたかどうかはゴールするまで分からなかった。

もうちょっと記録が欲しかった。決勝は(気象)条件に恵まれなかったと思う。タイムについては、今後しっかりと狙っていきたい」

2015/06/28 16:29 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【男子 3000m S C】

潰滝 大記（中央学院大・和歌山）

優勝 8分32秒89

「大学に入ってから、この大会で勝つことを目標にしてきた。去年3位だったので、今回は絶対に1位をとろうと思っていた。

今日は、（北京世界選手権）参加標準記録の8分28秒00を切ることを狙って臨んだ。最初から行かないと切れないと思っていたので、（1000mを）2分47秒で行き、イーブンで押していくつもりだった。ラスト1000mも（そのペースで）押せると思っていたのだが、ハードルや水濠を越えたあとに少し休んでしまった。そこが力不足だったと思う。

ホームストレートでタイムを見て、（標準記録は切れないとわかり）ショックだったが、でも、ゴールをしてみると1番になったという実感も。悔しい気持ちと嬉しい気持ちは五分五分といったところである。

今後は、7月に行われるユニバーシアードに出場するので、まずは、そこで頑張りたい」

2015/06/26 16:00 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【男子走高跳】

戸邊 直人 (つくば TP・茨城)

優勝 2m26

「今年はかなりハイレベルで、世界選手権の選考もかかっていたので、まずはその代表を勝ち取ることができてよかったと思う。2m26という優勝記録は、もうちょっと行きたかったというのが本音。ここで派遣標準記録の2m31を跳べればもっとよかったと思う。

ハイレベルな試合に対するプレッシャーはあった。ただ、その抑圧された状況のなかでこそブレイクスルーというか、高いパフォーマンスが発揮されると思っていた、そういう意味では自分に対して期待もしていた。

雨の試合になったが、準備は万全で臨んでいた。2m23の1回目で助走にばらつきが出てしまうなど、技術がまとまらなかった点があったが、そのなかで最低限まとめることはできたと思う。助走の1歩目で大きく出てしまったときに失敗していたので、そこだけ気をつけることを考えていた。

日本選手権の優勝は、2011年の第95大会以来なので嬉しい。また、ここから連覇を積むことができればいいなと思う」

2015/06/27 19:18 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【男子棒高跳】

荻田 大樹 (ミズノ・香川)

優勝 5m50

「今回が初めての日本選手権優勝ということで、自分のなかですごく大きな1勝になったのではないかと思う。雨が降ったり風が吹いたり、すごいコンディションだったが、そのなかでも対応しないと勝負にならない。そういう意味でも、そこそこの記録を出すことができたのはよかったと思う。

世界選手権の決勝の舞台で勝負するということを、今年目標としてやっていること。(今大会の優勝で) まずは一步近づいて、もし選ばれたなら、世界選手権に向けてしっかり調整して、記録を狙えるように頑張りたい。

この大会には、家族が応援に来てくれていた。情けない姿は見せられないというのがあったし、また、昨年生まれた息子に、しっかりと父親の姿を見せたいと思っていた。(会場に) いてくれることですごく力になった。」

2015/06/27 19:49 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【男子走幅跳】

菅井 洋平 (ミズノ・群馬)

優勝 7m88 (-0.1)

「(世界選手権) 参加標準記録 (8m10) は突破していたので、この大会では、とにかく勝つことを狙っていた。優勝という結果は、素直に嬉しい。

去年、一昨年はケガに苦しんだ。今年の好調は、冬季練習からケガなく練習でき、跳べていることが大きかったと思う。

ここで(代表を)一発で決められたというのは、世界選手権に向けても好材料。これからもっともっとコンディションを上げていきたい。

2015/06/28 19:11 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【男子三段跳】

石川 和義（長野吉田 AC・長野）

優勝 16m30（+0.2）

「状態がすごく良かったので、まだまだ跳びたかった。消化不良という感じ。記録が低すぎて恥ずかしい。

優勝という結果は、最低限かなという感じがあるが、喜びよりは悔しさのほうが大きい。調子と記録が全然噛み合わなかった。もう40cmくらい跳びたかった。

ちょっと神経質になりすぎたと思う。“勝たなきゃ、跳ばなきゃ”というのが先行してしまった。もうちょっと楽しくやればよかったと思う。

感覚的にはまだまだ行けそうに思っている。結果はあとからついてくると思うのだが、まずは自分のなかでの手応えをもっと高め、自己記録（16m98）を更新することを目指したい」

2015/06/27 20:16 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【男子砲丸投】

畑瀬 聡 (群馬総合ガード・群馬)

優勝 18m78 =日本新

「ここ数年、ずっと（日本記録を）出せるはずと言われ続けながら、なかなか期待に応えることができずにきた。いろいろな人に迷惑をかけて、応援してもらいながら、恩返しができずにいたので、この結果は本当に嬉しい。やっと少しは恩返しができただかなと思う。

（大学以来の恩師である）日本大学の小山裕三先生に指導をしてもらって、年々良くなってきている。技術的にはまだまだこれで終わりでないし、19（m）という数字も出せると思っているので、日本記録が出せたことは嬉しいが、今日（の投てき）がいいとは思っていない。

今日は、練習の段階で、19m近く、もしかしたら 19mを越えるかなという自信があった。しかし、1～4回目の試技が手投げになって、肩が開いていることと焦りすぎであることを（先生からも）指摘されていた。この記録（18m78）が2回目、3回目に出せていれば、19という数字も狙えたはず。そこはまだまだ“お子ちゃま”だと思う。

今回で9回目の優勝だが、上には上がいる。さすがに20（室伏広治の20連覇を指して）とは言わないが、最低でも10回勝つまではやめられない。まだ19mも投げていないので、今回の結果は通過点でしかない。まだまだ上っていくつもりでいる。

次の大きな試合は、全日本実業団か、国体あたり。ピークを合わせて出せるという年齢でもなくなってきたので、どの試合でも（記録は）狙っていこうと思っている。夢は20mを投げること。砲丸投をやっている以上、20mは夢の数字なので、あきらめずにやっていきたい」

2015/06/28 19:05 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【男子円盤投】

堤 雄司（群馬総合ガード・群馬）

優勝 57m15

「日本で一番を決める大会で2連覇できたことは本当に嬉しい。これからも（連勝を）続けたいと思う反面で、日本記録更新を目指していたので、それを達成することができず残念な思いもある。

今季は、これまで納得のいく投てきができずにいたが、この大会に向けて少しずつ良くなってきていた。今日の投てきには、まだ納得はできないが、もっと記録を出していけるという手応えをつかむことはできたように思う。

自分が目標とするのは2020年東京オリンピックで、来年のリオ（デジャネイロ）オリンピックについてもまだあきらめてはいない。この大会で連覇していくことよりは、自分の記録を、そして日本の投てきのレベルを上げていくことを意識している。まずはずっと更新できていない日本記録（60m22/1979年）を破りたい」

2015/06/27 13:22 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【男子ハンマー投】

野口 裕史（群馬総合ガード・群馬）

優勝 71m98

「大会前に（20連覇中だった）室伏広治さん（ミズノ）が欠場するということを知り、僕だけでなく、他の選手もとても残念がっていた。というのも、みんな1年に1回、広治さんと戦えるということを楽しみにしていたので。

広治さんがいないなかでも、それなりの記録を狙っていきたいと思って挑んだが、納得のいく記録が出せなかったのが悔しい。

実際に投げているときには、“どう投げようか”ということしか考えていなかった。6投目が終わって、花束をもらって“ああ、優勝したんだな”という実感が湧いてきた。

今日は僕だけだったが、僕以外にも70mを投げられそうな若い選手はたくさんいる。70mを投げる選手がどんどん出てくれば、日本のハンマー投が盛り上がっていくと思うので、もっと若い選手にも頑張ってもらいたいと思う」

2015/06/27 19:23 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【男子やり投】

新井 涼平 (スズキ浜松 AC・静岡)

優勝 84m13

「これで間違いなく(世界選手権)代表の座をつかめたので嬉しい。今年は、シーズン初戦(織田記念陸上を欠場)から、ちゃんと試合ができなかったので、間に合うのかなという不安がずっとあった。

今日も投げられるかなという不安はもちろんあったのだが、そのなかでも基本に忠実にできたので、この記録(84m13)が出てくれたのかなと思う。

今日は1~5投目までの内容がとても悪く、このまま終わってしまうのはイヤだなという思いもあったので、6回目は気持ちと動きをつくり直して臨んだ。実は、後半の試技が始まる前にも、いったん(心身を)リセットしていたのだが、それでもまだ(悪いイメージが)残ってしまっている状態だった。それでも、失敗に終わった4回目の投てきで、(良くなる)きっかけをつかめたことが、6回目(の84m13)につながったのかなと思う。6回目は、今までの感覚が少しは戻ってくれたかなという投げができた。

北京に向けて、これから記録のほうも徐々に上げていきたい」

2015/06/28 18:25 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【女子 100m】

福島 千里（北海道ハイテク AC・北海道）

優勝 11秒50（-0.3）

「今回で6連覇（優勝回数は7回目）。日本選手権で優勝するという事は、名誉なことだと思っている。しかし、そこが最大の目標ではない。目指すのは、世界の舞台でしっかり走るということ。（今回の結果が）その通過点になったらいいと思う。

今日の準決勝から決勝までは“もっと行ける”と思って過ごしてきた。昨日、200m決勝の前の100m予選を、しっかり行こうと思って行けなかったことで決勝に向けて迷いができてしまったので、その反省から、今日の（100m）準決勝は敢えて課題を持たずに走った。それでも100m予選よりは動きがよかったので、決勝に向けては、一番よく準備できたと思う。ただ、実際に今、決勝レースを走り終えての疲労感があまりないので、結果的には（力を）出し切れなかったのかなという気がしている。記録も（11秒）5もかかっているのに、“こんなはずじゃ…”と思いがあがる。

（その理由を挙げるとしたら）“狙わずに狙う”とか“7～8割のほうがいい動きができる”とか、本当にちょっとしたこと。もう何度もレースをやっているはずなのに、そこが本当に難しい。いろいろな場面で生じる自分の描いた走りと実際の結果とのギャップや感覚の差を埋めていけたら、もっとしっかりした選手になれるんじゃないかなと思う」

2015/06/28 20:07 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【女子 200m】

福島 千里（北海道ハイテク AC・北海道）

優勝 23秒23（+0.1）

「本当は、タイムがもっと欲しかった。でも、まず（勝てて）よかった。しっ
かりと（力を）出し切れたことがよかったと思う。

ベストを狙わずに（気負わないようにしつつ）狙っていたので、ちょっと残
念だなと思うところはある。そのつもり（ベストを狙う）でやってきているの
で、（記録が）出たらいいなと思ってはいた。

100mの流れがあまり良くなかったなので、その後、200mのウォーミングアッ
プをするとき、限られた時間のなかで、気持ちをつくっていくのと、やること、
やらなきゃいけないことなどに迷いが出てしまった。その影響で、自分が思い
描いていたレースができなかったことが反省点。しかし、走り自体は悪くな
かったと思う。

今日は誕生日だが、日本選手権は明日まで。この大会でしっかり2冠を取る
ことが目標なので、そこまでは気を抜かないで、でもいい気分で、明日（の100
m）もししっかり走りたい。レースをやるごとに身体も出力も上がってきている
ので、明日も（今日と）変わらず優勝と自己ベストを目指して頑張りたい」

2015/06/27 20:05 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【女子 400m】

青木 沙弥佳（東邦銀行・福島）

優勝 53 秒 05

「400mは全日本実業団などでの優勝はあるが、日本選手権で優勝したことは一度もなかったので、勝てて本当に嬉しい。去年はシーズン前半がふがいない結果で、夏に練習して、秋になってようやく走れるようになったので、今季はその流れのままシーズンに入りたいと思ってやってきた。春先に、世界リレーなどのレベルの高いレースに出られたことが、今回の結果につながっていると思う。

（優勝記録の）53 秒 05 は自己ベスト。400mでは 52 秒台を目指していきたいし、（明日決勝が行われる）400mハードルでもベストを狙っていきたい」

2015/06/27 16:26 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【女子 800m】

山田 はな（東京学芸大・新潟）

優勝 2分08秒20

「地元で優勝できて本当に嬉しい。優勝は狙っていた。応援されると頑張れるタイプなので、地元で開催されることは私にとってラッキーだった。

自分の持ち味は最後の100m。最後まで耐えて、ラスト100で勝負しようと思っていた。自分の得意なレースパターンで優勝できたので本当に嬉しい。

勝てたのは嬉しいが、タイムはまだまだ。また、スピードがないため速いレースにも対応できないので、これからもっと頑張りたい」

2015/06/28 15:50 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【女子 1500m】

須永 千尋（資生堂・東京）

優勝 4秒 15秒 69

「昨年、全日本実業団と国体に勝っていたので、この日本選手権に勝ちたかった。ずっとこれだけを目指にしていたので本当に嬉しい。

自分は、ラストスパートが武器だと思っているので、ラスト300mからしっかりと仕掛けようと思っていた。考えていた通りのレースができたと思う。

中距離はとても面白い種目。日本でもっと活性化させていきたいと思っているので、自分もそれに貢献したい。世界（大会）に出ていける選手になれるよう頑張りたい」

2015/06/27 15:53 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【女子 5000m】

尾西 美咲（積水化学・千葉）

優勝 15分 18秒 77

「去年までに2連覇していたので周りからの期待があった。その思いに応えられて良かったと思う。3連覇を達成できてホッとしている。今日はけっこうハイペースのなかレースが進んでいたの、最後まで力をためて、勝負にかけようと思って走った。

これで世界選手権代表に内定した。2年前に選んでもらったときに、すごく悔しい思いをした。リベンジさせてもらえるチャンスをいただけたと思って、しっかり準備をして臨みたい」

2015/06/28 18:08 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【女子 10000m】

西原 加純（ヤマダ電機・群馬）

優勝 32分06秒48

「昨年優勝しているぶん、周りの人に優勝を期待されていたので、その期待に応えることができているのが嬉しい。去年の秋以降、臀部から大腿後部にかけて故障が続き、3月くらいまで引きずった。そのため今季はスタートが遅れていたが、この大会に向けた合宿でけっこう練習を積むことができ、今季のなかでは一番いいコンディションで臨むことができた。

（世界選手権代表に内定したが）内定したという実感があまりないというのが正直なところ。まず“ここで優勝”というのが一つの大きな目標だったので、それを達成したという喜びのほうが大きい。

スローペースではあったが、去年ほどスローでもなく、うまくみんなで引っ張り合いをして、いいペースを保持できた。スピード勝負になれば勝てるかなと思ってはいたが、人数が多かったので、誰がどう出るかがわからずそわそわしていた。いい流れのレースができたと思う」

2015/06/26 19:12 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【女子 100mH】

紫村 仁美 (佐賀陸協・佐賀)

優勝 13秒27 (-0.2)

「2年ぶりの優勝ということで、とても嬉しい。しかし、日本記録(13秒00)更新、12秒台の記録を目指していたので悔しさもある。

決勝は、自分のレーンだけ見て、自分の走りだけに集中しようと思って臨んでいた。予選では序盤に課題を残したが、決勝は前半からとてもよく走れたと思う。ただ、レース中盤の6~7台目で(スピードに)乗ってきたなかで脚が回らなくなり、10台目でハードルにぶつけてしまった。その点にはまだ改善の余地があると思う。

この大会に向けては、優勝することよりも、12秒台突入を狙っていた。記録は7月の日中韓3カ国交流陸上(南部記念陸上と合同開催)で12秒台を狙う。(北京世界選手権出場に向けて)最後の最後まで諦めず、記録を狙っていきたい」

2015/06/27 17:03 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【女子 400mH】

吉良 愛美（アットホーム・東京）

優勝 57秒92

「日本一になれたことは素直に嬉しいが、記録が悪すぎたので、悔しい思いのほうが多い。予選を通して、いろいろと出た反省点が、決勝でマイナスに出ないように、ウォーミングアップのときから意識してやっていた。気持ちが上がらないように、最後はしっかり粘って走った。

いろいろなコンディションのなかで、勝負に勝つということを意識しながらやったことが勝てた要因かなと思う」

2015/06/28 16:19 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【女子 3000m 障害物】

高見澤 安珠（松山大・三重）

優勝 9分55秒79

「この大会は、日本で一番大きな大会。出ること自体が夢だったのに、初めての出場で優勝することができた。今までで一番嬉しい。

自分でレースをつくるのが一番走りやすいので、最初からレースを引っ張った。後ろの選手のことは考えず、自分との戦いだと思って、前だけをしっかりと見て走った。

今後の目標は9分44秒00（北京世界選手権派遣標準記録）を切ること。世界選手権とオリンピックに出場することを目標にしているので、まずはそこを目指したい」

2015/06/28 15:40 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【女子走高跳】

渡邊 有希 (ミライトテクノ・大阪)

優勝 1m81

「優勝できたことは素直に嬉しいが、自己ベストを更新して優勝したいと思っていたので、ちょっと悔いの残る試合になったと感じている。

前回、初優勝して、今回は2連覇を目指していた。去年は雨の中での試合で、記録も1m75(にとどまった)ということで、勝っても自分で勝ち取ったという感覚がなかったのだが、今日は自分が狙った試合でしっかり勝つことができたので、それがとても嬉しい。

2連覇できたことは、とても自信になる。今後は、自己ベストを更新して、さらに上——アジアや世界を目指したい。目の前にあることから1つずつ…まずは自己ベストを更新することで、おのずと見えてくるのかなと感じている」

2015/06/26 18:15 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【女子棒高跳】

竜田 夏苗（モンテローザ・東京）

優勝 4m15

「自己ベストで優勝することができたので、本当にもうすごく嬉しい。去年あがりから跳べなくてずっと悩んでいたが、今回の試合はいい意味で開き直れたというか、思いきって楽しんで競技することができた。そこが一番良かったと思う。

（優勝争いをしていた他選手がパスした）4m15は、自分も跳ぶつもりではなかったのだが、勝負するために記録を刻んでいくことを選んだ。試合のなかでいい感覚がどんどん出てきていたこともあり、（クリアした2回目は）“もっと行ける”という跳躍ができていたように思う。

4月から社会人としてモンテローザで競技を続けることになり、拠点を東京に移した。チームも練習場所（日本大学）も、すごく強い方々ばかり。そんななかでチームが日本選手権に向けて盛り上がっていく波に、自分もうまく乗ることができた。

優勝できて、今回は自分でも言うことなしの結果だが、記録自体はまだまだ。まずは標準記録（4m50）を目標に、もっと上を目指していきたい」

2015/06/26 18:41 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【女子走幅跳】

岡山 沙英子 (広島 JrOC・広島)

優勝 6m21 (+0.6)

「出場するのは2年ぶり。去年は、出産(5月)のため休養していて、3月にアメリカの記録会で復帰した。その後、5月に尾道(広島)の記録会に出場して、この大会の標準記録を突破、この大会が復帰3試合目となる。

しかし、4月に肉離れして、それがやっと治ったかと思ったら今度は腰を痛めてしまい、走ることができたのは大会3日前という状況だったので、正直なところ、優勝を狙うというよりは、跳べるかどうか不安だった。しかし、試合をやっているうちに闘争心が湧いてきたようで、ベストエイトに残ったところで優勝を狙おうと思った。“経験で勝った”という感じである。

出産後、自分の身体がどう変わっていくのかを知りたいという気持ちで練習に取り組んできた。この優勝をきっかけに、また記録を狙っていきたい。1歩1歩進んでいきたいと思う」

2015/06/27 14:42 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【女子三段跳】

中尾 有沙 (祐和會・熊本)

優勝 13m09 (+2.0)

「高校でも、大学でも（日本一になることを）目指してやってきたが、いざ（選手権を）取ってみると、“まさか”という気持ちで、びっくりしている。でも、とても嬉しい。

今日は、ウォーミングアップでは調子が良かったのだが、緊張しすぎて1本目の跳躍を失敗してしまった。ベストエイトに残れないかも…と思ったが、後半の試技で良くなると信じて跳んでいたら、（4回目で）初めての13m台を出すことができた。

日本選手権で初めて優勝することができたので、今後は13m後半を目指していきたい。また、まだ日の丸をつけたことがない（日本代表選手に選ばれたことがない）ので、一度は代表になってみたいと思う」

2015/06/26 15:10 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【女子砲丸投】

太田 亜矢 (福岡大・福岡)

優勝 15m65

「初めての日本選手権優勝、とても嬉しい。今日は、緊張していたこともあり、最初の流れは悪かったが、後半に入ってから落ち着いたことができた。(優勝記録となった)最後の1投(15m65)はセカンドベスト。ベスト(自己記録=15m71)が出せたとまでは思わなかったけれど、手にかかった感触があったので、15m後半は行ったかなと感じていた。どんどん記録を伸ばしていく試合をしたいと先生(野口安忠氏、元男子砲丸投日本記録保持者)とも話していたので、優勝が決まったあとでさらに記録を伸ばせたことに満足している。

高校時代は、やり投もやっていたが、3年生のときに肘の靭帯を痛めたことで、以降は砲丸投に専念した。日本一になったが、世界に出ていくには記録はまだ。2020年東京オリンピックを目指して、もっと頑張っていきたい」

2015/06/27 13:51 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【女子円盤投】

坂口 亜弓 (S. T. T. ・兵庫)

優勝 53m58

「昨年の8月、交通事故に遭い、2カ月くらいは動くこともできなかった。(練習を再開し) 投げる練習ができるようになったのは今年1月に入ってから。技術的に未完成の状態でもシーズンを迎えていたので、今日は、まず51m20だったシーズンベストを上回りたと思っていた。

今回は初優勝。記録自体はずっとランキング1位だったが、これまで日本選手権だけ勝つことができずにいた。ずっと2番で“シルバーコレクター”といわれていただけに本当に嬉しい」

2015/06/26 13:51 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【女子ハンマー投】

綾 真澄 (丸善工業・香川)

優勝 66m05

「10回目の優勝ではあるが、今は悔しい気持ちのほうが強く、反省しかない。せっかく前半をいい流れで入って、3回目にシーズンベストを投げられたのに、後半でさらに上げていくことができなかつたので。今回は、自己ベスト(=日本記録:66m32)を狙えるという自信を持って、新潟へ来ていた。それで出せなかつたのは、まだまだ甘さがあるのだと思う。

今年は、自分の身体をうまく動かせるようになってきて、練習でもやるべきことを見つけてやれるようになりつつある。だいたい同じ記録は出せているのだが、それではダメ。それを越えていく記録を狙いたい。(この結果は)もっとしっかり練習しろということなのかもしれない」

2015/06/28 15:08 メディアチーム



99TH 兼 第15回世界陸上競技選手権大会(2015/北京)
代表選手選考競技会

日本陸上

競技選手権大会

■第99回 日本陸上競技選手権大会 フラッシュクォーツ

【女子やり投】

海老原 有希 (スズキ浜松 AC・静岡)

優勝 59m11

「優勝して(世界選手権代表の)内定がとれたので良かったとは思いますが、思っていたような記録には届かなかったので課題が残る。前半の試技で60mを越えられなかったし、後半の3本も納得ができない投てきで、すべてファウルにしたという状態なので、最低限の結果という印象である。

ただ、今季はケガが一切ない。元気な身体で投てきできているのは一番良いことだと思う。ここまで順調に段階を踏めてきているので、最高の状態で世界選手権を迎えたい。課題とするのは、試技の前半でしっかりと投げきること。流れは悪くないので、投射角や姿勢角など細かいところを見直していきたい」

2015/06/26 16:55 メディアチーム